# 11［評論］　『人間はいろいろな問題についてどう考えていけば良いのか』

［１］　ａバクゼンとした人物の印象を人に伝えるとき、小説のキャラクタという①シンボルがあると、とても便利だ。そのキャラクタの名前を出して、「○○先生のような人」といえば、その小説を知っている人ならば伝わるかもしれない。当然ながら、たとえ同じ小説を読んでいても、同じキャラクタに対して各自が違った印象を持っているはずだから、正確にイメージが伝わっている保証は全然ない。ただ、その場の「言葉」が通じるだけの話である。

［２］　この「〜のような」というよく使われる表現が、②抽象的なものを示す機能がある、と意識している人はあまりいないかもしれない。しかし、たとえば、事件を報道するニュースで、「バールのようなものでｂキンコを壊されていた」と言っているのを聞いたことがあるだろう。これは、バールとは限らないが、結果から判断して、バールに相当するような機能を持ったなんらかの道具を使った、と推定しているのである。バールかどうか、具体的にはわからないが、「機能」という本質的なものだけを抽出して述べているわけだ。似たもので、「○○風の男性」などもよく耳にするだろう。

［３］　「バールのようなもの」と表現することで、他者にだいたいのイメージを伝えることができる。それくらいの破壊力を持った道具らしい、という認識を比較的簡単に持ってもらえる。ｃソウサクの段階で、バールでないものを見つけた場合にも、「あ、もしかして、これでも可能だな」と判断ができる。単に「バール」と具体的に限定してしまうと、③ほかのものを見過ごすかもしれない。このように、具体的ではなく、抽象的な表現による伝達が有利なことは、実は非常に多いのだ。

［４］　ここで注目したいのは、「バール」よりも「バールのようなもの」の方が集合として大きいということ。つまり、抽象化することによって、そこに含まれる対象の数が多くなる。適合する範囲が広くなるために、ｄショウテンが合わず「ぼやけた」感じがするけれど、逆にいえば、［　Ａ　］。

［５］　④「〜のような」とつけ加えただけで、抽象化されるのは何故だろう。これは、そもそも言語というものが、コミュニケーションの行き違いを防ぐために、意味を限定する性質を持っているからである。言葉は、たとえ抽象的な概念を示すために生まれたものであっても、その言葉が一般に流通するときには、ある程度の「定義」がなされる。言葉の意味をみんなで確認し合い、こういう意味に限定しよう、と決めるわけである。このとき、⑤言葉は具体的なものになる。たとえば、初めて発見されたものは、当初「〜のような動物」とか、「〜に似た植物」といったように抽象的に表現されるが、その存在が多数の認めるところとなると、しっかりとした定義を決めて、新しい名前がつけられる。多くの言葉は、このような洗礼を受けたうえで広まるのである。

［６］　「〜のような」をつけることで、この「定義」のｅカタクルしさを捨てる、すなわち捨象しているわけだ。

●語　注

キャラクタ＝ここでは、ある役割を背負った小説の登場人物という意味。

洗礼＝一つの成長を遂げるために必要な経験のこと。本文では比喩的にこの意味で使っている。

捨象＝本質ではないと思われる部分を無視すること。→抽象。

■覚えておきたい語句

□６抽象的…………………具体的なものとしてではなく、観念のうえでのみ成り立っているさま。

□10抽出……………………抜き出すこと。

□18抽象化…………………個々別々の物事や見方から離れて、一般性を持たせるようにすること。

□18対象……………………目標や相手のこと。オブジェクト。

□18適合……………………うまく当てはまること。

□21コミュニケーション…言葉や文字などで意思の伝達を行うこと。

□22概念……………………物事の概括的な意味内容。

□26洗礼……………………大きな変化をもたらすような経験をすること。

□27捨象……………………ある事象から特性や共通性を抽出する際に、その他の性質を排除すること。

◆漢字

本文中の二重傍線部ａ〜ｅのカタカナを漢字に直せ。

ａ［　　　　］ｂ［　　　　］

ｃ［　　　　］ｄ［　　　　］

ｅ［　　　　］

問１　傍線部①の意味として最も適当なものを次から選べ。　５点

ア　信号　　イ　道具　　ウ　合図

エ　象徴　　オ　話題

〔　　　〕

問２　傍線部②とはどういうことか。本文中の語句を用いて二〇字以内で説明せよ。　８点

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問３　傍線部③とはどんなものか。本文中の語句を用いて二〇字以内で説明せよ。　８点

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問４　空欄Ａに入る語句として最も適当なものを次から選べ。【読みのセオリー】　６点

ア　バールとは何かをはっきりとイメージできる

イ　いろいろなものに適用できる可能性が広がる

ウ　だれとでもコミュニケーションが可能となる

エ　何かの道具だということだけははっきりする

オ　言葉としての流通が不十分ということである

〔　　　〕

問５　傍線部④とあるが、その理由を本文中の語句を用いて三〇字以内で説明せよ。　10点

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問６　傍線部⑤とはどういうことか。最も適当なものを次から選べ。　６点

ア　言葉が、一つの物理的事物を表現するということ。

イ　言葉から、抽象的な概念が削除されるということ。

ウ　言葉から、本質的意味だけを取り出すということ。

エ　言葉の表す意味が、一つに限定されるということ。

オ　言葉の表す意味が、たくさん存在するということ。

〔　　　〕

問７　文の内容と合致するものを次から一つ選べ。　７点

ア　言葉は、抽象化されることで対象の数も多くなり、その分あいまいになってしまうが、実は具体的な表現よりも、伝達には有利となる。

イ　小説のキャラクタは、各自が違った印象を持っているので、人物の印象を伝えるときに使っても、その言葉はまったく誰にも通じない。

ウ　「バールのようなもの」と表現したとき、バールそのもののイメージは伝わってはいないので、それを聞いた者は、何の認識も持てない。

エ　言葉はそもそも意味を限定する性質を持っているが、抽象的な概念を示すために生まれた言葉に限っては、その性質からは外れている。

オ　「〜のような」という言い方は、言葉を抽象化するのに加え、コミュニケーションという点からも行き違いが生じてしまう問題がある。

〔　　　〕

【解答】

漢字　ａ漠然　ｂ金庫　ｃ捜索　ｄ焦点　ｅ堅苦（しさ）

問１　エ

問２　本質的なものだけを抽出して述べること。（19字）

問３　バールに相当するような機能を持ったもの。（20字）

　（「バールくらいの破壊力を持った道具」（16字）は△。）

問４　イ

問５　言葉の具体的な「定義」が捨象され、意味が広くなるから。（27字）

問６　エ

問７　ア

【読みのセオリー】

★否定の仕方には筆者の意図が反映される

　評論文の否定的な表現の中には、筆者の意図が強く反映されていると考えるべきである。接続語に限らず、それまでの叙述内容を否定するような書きぶりには注意が必要である。

　それは、「主張の方向性を転換する」というより、むしろ、否定的な表現の後こそが、筆者の主張したいことなのである。問４はその一つの典型である。

〔要　約〕

　〜のような」をつけると、言葉が抽象化されると述べる2段落、その有利性と特徴を述べた3、4段落、最後に、抽象化される理由を述べた6段落を順次まとめる。

　　　　↓

　「〜のような」という表現には、言葉を抽象化する機能があり、伝達に有利なことが多い。抽象化された言葉は、多くの対象を含み、適合する範囲は広がるが、これは、定義を捨象し意味の具体性が失われるからである。（99字）

〈筆者＆出典〉森　博嗣（もり・ひろし）一九五七（昭和32）年愛知県生まれ。作家。工学博士。元名古屋大学助教授。『すべてがＦになる』で第１回メフィスト賞受賞。その後、短期間に多くの作品を発表。専門用語の飛び交う作風は、当初「理系ミステリ」と評された。小説以外に多くの評論も執筆している。本文は、『人間はいろいろな問題についてどう考えていけば良いのか』（新潮新書、二〇一三年）より。

☆「セオラム　補充問題」問題は次の３種類があります。

　＊差し替え　　　……　当該の問と差し替えるもの

　＊追加　　　　　……　同じ問いで追加された問題

　＊新問　　　　　……　追加が可能な新たな問題

新問　「とても便利だ」とあるが、それはなぜか。空欄に40字以内で説明せよ。

答　自分の持つイメージが精確に伝わる保証はないが、その場の「言葉」は通じるから。（38字）

新問　次の一文は、ある段落の最後に入る。何段落か答えよ。

　　（似たもので、「○○風の男性」などもよく耳にするだろう。）

答　２段落